

病害虫防除技術情報第 14 号

令和 7 年 10 月 17 日
三重県病害虫防除所

チョウ目害虫（オオタバコガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ）が増加しています。
ほ場を観察して初期防除に努めましょう。

- 1 対象作物：野菜類、花き類
- 2 対象病害虫名：オオタバコガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ
- 3 発生状況と気象の状況
 - (1) 県予察ほ(松阪市嬉野川北町)におけるフェロモントラップ誘殺数(9月第4半旬から10月第3半旬)はオオタバコガが1,795頭(平年258頭)で平年の約7倍、ハスモンヨトウが6,215頭(平年2,398頭)で平年の約3倍、シロイチモジヨトウが1,728頭(平年179頭)で平年の約10倍といずれも多く推移しています。(図1、図2、図3)
 - (2) 巡回調査ほ場(9月第5週から10月第1週)では、ハスモンヨトウの冬キャベツへの寄生株率が11.6%(平年3.1%)と多く、シロイチモジヨトウの青ネギの被害葉率が11.3%(平年8.1%)とやや多く確認されています。
 - (3) 1か月予報(10月16日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高い見込みで、チョウ目害虫の発生に好適な条件が続くと予想されます。

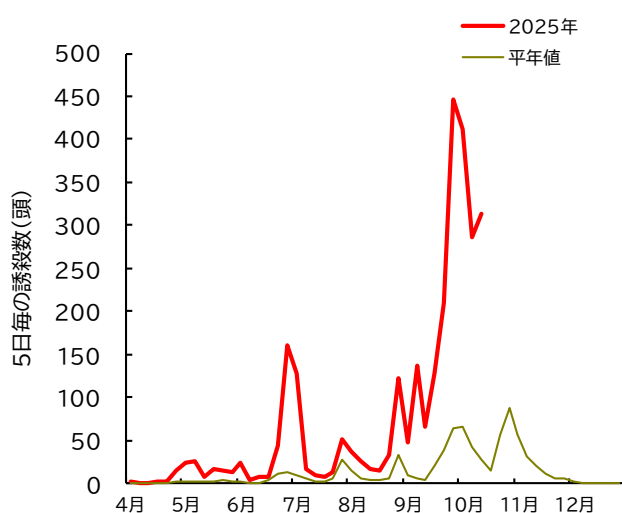


図1: フェロモントラップによるオオタバコガ成虫の誘殺消長
(調査場所: 松阪市嬉野川北町)

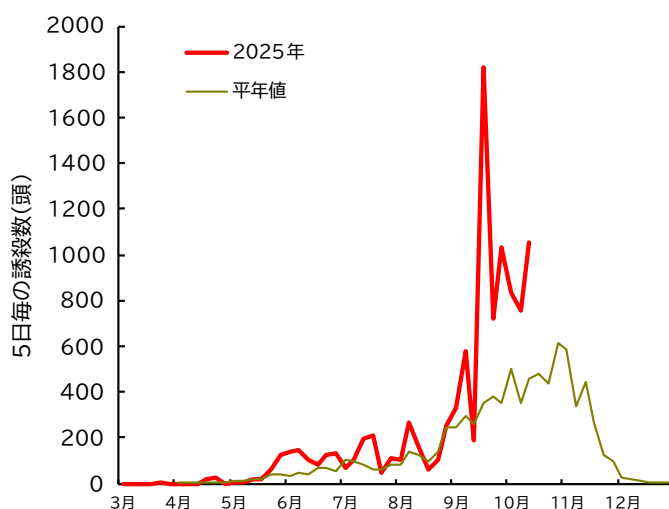


図2: フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所: 松阪市嬉野川北町)

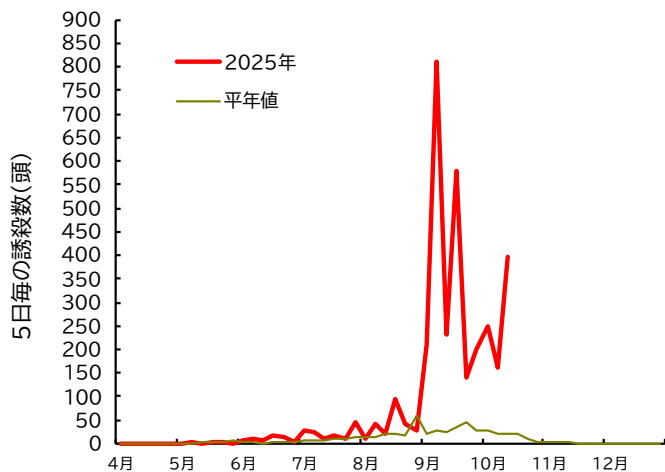


図3:フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

4 防除の注意事項

- (1) こまめには場を見回り、発生している害虫を確認の上で農薬を選択し、若齢のうちに防除してください。老齢幼虫(図4、図5、図6)は薬剤の効果が低下します。
- (2) 薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- (3) 薬剤は葉裏や株全体に散布ムラがないように丁寧に散布してください。
- (4) オオタバコガは令和7年7月2日付け病害虫防除技術情報第4号、ハスモンヨトウは令和7年8月20日付け病害虫発生予察注意報第3号、シロイチモジヨトウは令和7年9月12日付け病害虫防除技術情報第11号にて、増加に関する情報を発出していますので、それぞれ参考にしてください。
- (5) チョウ目害虫のフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>

- (6) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>



図4



図5



図6

図4:オオタバコガ、図5:ハスモンヨトウ、図6:シロイチモジヨトウ

予報発行時のeメール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

